

生活支援工学 特別講演会 「四半世紀を迎えた介護保険、福祉用具の今を考える」

2000年に始まった介護保険は、今年で25年（四半世紀）を迎えます。介護保険の福祉用具貸与・購入制度は、福祉用具の世界を確実に変革したといえるでしょう。車いすや特殊寝台は要介護高齢者に多く普及しましたし、歩行器や歩行補助杖の利用者も街で多く見かけるようになりました。ロボット介護機器の大プロジェクトも、出口としての介護保険を意識した動きを見せていましたし、介護保険での給付にも影響を与えてきました。このような利用の広がりや急激な技術の進歩を受けて、福祉用具の利用には、あらたな課題も生じています。

今回の講演会では、四半世紀を迎えた介護保険福祉用具貸与・購入制度を軸に、福祉用具の今を整理し、今後の普及や開発の促進に向けた議論を展開したいと考えています。

■主催：日本生活支援工学会

■後援：経済産業省、厚生労働省、日本福祉用具・生活支援用具協会、テクノエイド協会、
日本福祉用具供給協会

■日時：

2025年12月14日（日）14：00～16：10

■形式：WEB

■プログラム：

司会：井上剛伸（国立障害者リハビリテーションセンター研究所 シニアフェロー）

14：00～14：10

経済産業省ご挨拶（5分）

・経済産業省：

商務情報政策局 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室長 大石 知広

14：10～14：40

「介護保険における福祉用具供給制度」（仮）

濱本 健司（厚生労働省老健局 高齢者支援課長）

14：40～15：00

「介護保険福祉用具貸与・購入制度の考え方」（仮）

渡邊 慎一（横浜市総合リハビリテーションセンター センター長補佐）

15：00～15：20

「介護保険福祉用具貸与・購入制度の実施に向けた取り組み」（仮）

黒岩 嘉弘（テクノエイド協会 常務理事）

15：20～15：40

「福祉用具供給の現場から」（仮）

岩元文雄（日本福祉用具供給協会 理事長）

15：40～16：10

質疑・総合討論

16：10

閉会

大野 悅子（日本生活支援工学会 会長）

敬称略

■オーガナイザー：井上剛伸、渡邊慎一